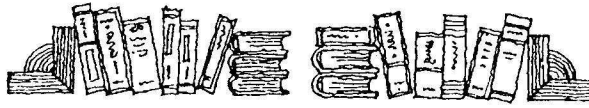


国語国文学会だより



No. 29

2003. 8

日本文学科卒業生の会

国語国文学会 春の総会・研究発表会報告

平成十五年春の総会・研究発表会を五月二十二日(木)、八十年館八五一教室にて開催しました。

◆第一部 総会

(1) 国語国文学会会長挨拶

倉田宏子先生

(2) 奨学金授与

上村悦子賞

院博士課程前期二年次 伊藤里和氏
院博士課程後期三年次 渡部麻実氏

日本女子大学日本文学科賞奨励賞

学部四年次 山本沙枝氏

布施良美氏

院博士課程前期二年次 明石亜紀子氏

(3) 国語国文学会委員長挨拶・役員紹介

(学生会の会・卒業生の会)

(4) 平成十四年度活動・決算報告

(5) 平成十五年度活動計画案・予算案・監査選出

(4)(5)については、学生、卒業生より各々報告説明を行い、各案件とも審議後承認

(6) 自主ゼミ発足(学生の会・卒業生の会)、承認

◆第二部 活動報告と研究発表

交換留学生紹介及び挨拶

学部三年 クルーズ、アイリン・エム(ウエルズリー・カレッジ) ガーマー、キャロライン・ダブリュ(ウエルズリー・カレッジ)

学部四年 ビケロ、キャラ・アール(オレゴン大

学)ノラン、ブリタニー・エイ(オレゴン大学)チエン、シューチュアン(オレゴン大学) ウェーバー、エイドリエン・エス(マウント・ホリヨーク・カレッジ)

秋季大会・公開講演会のご案内

▼日時 平成十五年十一月二十九日(土)

▼場所 八十年館八五一教室

▼公開講演会

題目未定

永井路子氏

☆講師略歴

永井路子(ながい みちこ)

大正十四年東京生まれ。東京女子大学国語専攻部卒。昭和三十九年「炎環」によって直木賞受賞。昭和五十七年「氷輪」で女流文学賞受賞。昭和五十九年菊池寛賞受賞。昭和六十二年吉川英治文学賞受賞。平成九年放送文化賞受賞。「元就、そして女たち」(NHK大河ドラマ「毛利元就」原作)、「美貌の女帝」、「この世をば」など著書多数。義母黒板さきさんが本学5回生、らいてうの親友であった。

▼講演

源氏物語と江戸時代

本学教授 鈴木健一先生

▼懇親会

講演会終了後、ワイミンにて(予定)

会費 三千円(学生千五百円)

*研究発表会 二十九日午前

〔発表者募集〕

詳細は四面参照

・報告

『金閣寺』論

近代自主ゼミ 井上愛氏

親子内親王・平子内親王(仁明天皇皇女)について

皇女研究会 柳澤理恵子氏

・研究発表

芭蕉の住居観

新53 安藤千恵子氏

平成十四年度卒業生の会活動報告

(1) 総務

・回生委員会・常任委員会の召集

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十三日(木)

(2) 企画

・自主ゼミの活動

平安文学談話会・皇女研究会・古代中世文化論

文学散歩の実施 十月十九日(土)

・秋季大会の開催 十一月三十日(土)

研究発表大会・総会・講演会・懇親会

(3) 会計

・会費納入の確認

・収支・運営・備品の完備など

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

二十七号(春の大会報告号 八月)

二十八号(秋の大会報告号 三月)

・はがき通信 四月(春の総会案内)

・はがき通信 十月(秋季大会出欠、住所確認、

「ひつひつ」)

平成十五年度卒業生の会活動計画

(1) 総務

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十二日(木)

(2) 企画

・自主ゼミの設立

・秋季大会の開催

研究発表大会・総会・講演会・懇親会

・文学散歩の実施

(3) 会計

・会費納入への協力依頼

・活動充実のための備品の整備・購入

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

春の大会報告号・八月

秋の大会報告号・三月

・はがき通信 四月・十月

平成十五年度常任委員

総務 児玉久美子(旧46) 土橋ユリヨ(新31)

企画 藤木直美(院31) 稲田千恵子(院33)

立川和子(新1) 関根緑(旧44)

新妻佳珠子(新3) 平山静(新34)

日本女子大学国語国文学会卒業生の会
平成14年度決算報告(平成15.5.22)

【収入の部】

(円)

項 目	予 算	決 算	増 減
前年度繰越金	392,181	392,181	
会 費	750,000	547,896	△202,104
利 子	0	14	
寄 付	0	2,000	
本売上手数料	0	20,000	
計	1,142,181	962,091	△180,090

【支出の部】

項 目	予 算	決 算	増 減
通信費	400,000	407,880	△ 7,880
文具費	10,000	200	
コピー代	20,000	2,640	
会報印刷費	140,000	80,950	
名簿作成費	100,000	100,000	別途積立金
委員会活動費			
・委員会費	20,000	21,611	
・交通費	40,000	40,000	
・行事費	10,000	0	
ゼミ費	30,000	30,000	
大会費用	100,000	87,499	
講演料	(60,000)	(60,000)	
諸経費	(40,000)	(27,499)	
慶弔費	10,000	0	
パソコン関係諸費	60,000	46,629	
予備費	202,181	4,200	
計	1,142,181	821,609	

次年度繰越金 ￥140,482

上記の通り決算報告致します。

会計

津田英子

有藤千子

監査の結果、上記決算報告が正確であることを認めます。

監査

猶希三保

保志美也子

会計 津田英子(新6) 斎藤令子(新6)
編集 中田和子(院27) 福原房枝(新28)
斎藤視知(院35) 小長井晃子(院33)

黒川晴美(新33) 倉田智子(新31)

本年度の会計監査は金石教子さん(新12)、多田孝子さん(通30児)です。

平成十五年度研究サークル

* 平安文学談話会(古筆を読む)

金曜日 午後四時半(年十回) 日本文学科研究室

・高野晴代 TEL〇三(三三七〇)六八〇六

* 皇女研究会(皇女総覧平安朝篇の作成)

不定期 土曜日午前十時半 大学図書館共同研究室

・柳澤理恵子 TEL〇四五(八四一)六五二五

* 古代中世文化論なし芸術論

毎月第四木曜日 午後一時半〜三時半

桜楓会館新館にて

・山田佐和子 TEL〇三(三九七二)四八四三

○『国文目白』第四十二号ができました。ご希望の方は葉書で左記までお申し込みください。

〒一一二・八六八一 文京区目白台二・八一

日本女子大学日本文学科研究室『国文目白』係
代金は、冊子到着後に払い込んでください。

(送料別 九百円)

国文目白第四十二号

小学館新編日本古典文学全集『狭衣物語』和歌索引

後藤祥子・一文字昭子

流離う力——貴種流離譚における「神話」から

「物語」へ——鈴木貴子

源氏物語宇治十帖に

おける「山里」

斎藤由紀子

「酒呑童子」の特性

諸問の変遷をめぐって——松村聡美

「霞が関」の詠法——

漢詩と和歌を中心

に——壬生里巳

小林秀雄「歴史につ

いて」——ベルジャー

エフ「歴史の意味」受容を中心に——小川真友子

小林秀雄におけるボードレール——戦後最初期を

中心に——鈴木美穂

平安時代和歌の語彙の量的構造

日韓の漢字語使用についての対照的研究——品詞

別に見た傾向比較——裴晋影

「小特集『青踏』と日本女子大学校」

緒言 岩淵(倉田)宏子

『青踏』の時代と日本女子大学校——「性」として

の自立を求めた女性群像——米田佐代子

平塚らいてうと成瀬仁蔵 青木生子

『青踏』の花・尾竹紅吉 渡邊澄子

「新しい女」の服飾——らいてうの装いと意識——

佐々井啓

大村嘉代子——「家庭の人」から「新しい女星

へ」——松村香代子

木内錠の小説——男性を排除するヒロインた

日本女子大学国語国文学会卒業生の会 平成15年度予算(平成15.5.22)

【収入の部】

項目	予算
前年度繰越金	140,482
会費	750,000
計	890,482

【支出の部】

項目	予算
通信費	400,000
文具費	3,000
コピー代	5,000
会報印刷費	100,000
名簿作成費	100,000
委員会活動費	
・委員会費	20,000
・交通費	40,000
・行事費	10,000
ゼミ費	30,000
大会費用	100,000
講演料	(60,000)
諸経費	(40,000)
慶弔費	5,000
パソコン関係諸費	50,000
予備費	27,482
計	890,482

ち——渡部麻実

『夜汽車』にみる東京憧憬——「良妻賢母の人

格」——橋本のぞみ

「書評・紹介」【彙報】

研究室だより

○ 日本文学科では、従来のホームページを、学科の特色をより鮮明に打ち出した充実したものにすべく総力をあげて再編集に取り組みました。新しいホームページを公開致しておりますので、是非ご覧下さり、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

○ 本年三月刊行の本学会機関誌『国文目白』第四十二号に、「小特集『青踏』と日本女子大学校」を収載致しました。本学卒業生平塚らいてうを中心に、多くの同窓生が参加した『青踏』は、初の女性だけの手による女性のための文芸雑誌であるだけでなく、日本の女性解放運動の原点となった営為として

高く評価されております。二〇〇二年三月に日本文学科では、『青鞥』創刊九〇周年を記念して、『青鞥』と日本女子大学校」と題する公開講演会を開催致しました。女性史・女子教育史・文学史・服飾史などの多角的な視点から『青鞥』に光を当てた同講演会では、『青鞥』と日本女子大学校との関わりが新らしく多面的に検証されました。本号では、こうした学際的研究の有効性を広く内外に知っていただくと同時に、『青鞥』研究のさらなる進展に寄与するために、当日のご講演や研究発表をもとにした小特集を組みました。多くの皆様のご高覧をお願い申し上げます。

○ 八月二日(土) 午後一時半から二時半まで、第三回の本学科卒業生による教育活動報告の会を開催致しました。本年は、小松紀子氏(新三十三回卒、筑波大学附属盲学校教諭)に、『盲学校の国語教師として』というご講演をお願い致しました。小松氏は、教員になるまでの道程と盲学校の教師としてのさまざまなご体験をきわめて率直に語られ、教職志望の学生たちに、多大な励ましと示唆を与えて下さいました。とりわけ、障害のある生徒への教授法も、教師自身がよく研究し尽くしたことを教えるに如くはないという教育の原点を指摘された点に、深い感銘を覚えました。

○ まことに残念なことです。本年三月をもって、上代文学担当の小川靖彦先生が、青山学院大学にお移りになりました。学科のために大変ご尽力くださいました先生のますますのご発展をお祈り致します。

○ 小川先生の後任として、東京成徳大学より平舘英子先生をお迎え致しました。先生は万葉集を主たる研究対象にされておられます。

○ 昨年度、前半はイギリスのケンブリッジ大学を中心とした海外研修に、後半は東京大学を中心とした国内研修に出られていた高橋智子先生が、帰任されました。

○ 今年度は、後期から、源五郎先生が、サバティカルに入られます。

○ ほかの先生方は、昨年と変わりません。

後藤祥子先生(中古文学)

石井倫子先生(中世文学)

鈴木健一先生(近世文学)

源 五郎先生(近代文学)

高橋智子先生(近代文学)

清水康行先生(日本語学)

藤原浩史先生(日本語学)

石田敏子先生(日本語教育学)

谷中信一先生(中国思想史)

田辺和子先生(外国人留学生特別科目)

田中 功先生(図書館情報学)

倉田宏子 (近代文学)

○ 助手の白石美鈴さん、溝部優美子さん、八木京子さんは、変わりありません。非常勤助手の長崎靖子さんがご退職され、代わって小林美恵子さんがお勤め下さっています。

○ 国語国文学会の本年度の担当は、鈴木先生、谷中先生、八木さんです。(日本文学科長 倉田記)

◆文学散歩(本郷界限)へのお誘い

日本文学を代表する樋口一葉。来年七月、新五千円札の顔として身近になるのを機に、一葉文学を育んだ本郷界限を歩く予定です。

日 時 十月十八日(土) 午前十時

集合場所 地下鉄丸の内線本郷三丁目改札口

費 用 昼食代他 約三千円

申込み・連絡先 新妻佳珠子(新3)

○ 四二二四四一四六九一

十月十四日〜十六日 夜間にお電話を

◆研究発表会 発表者募集

・ 日 時 平成十五年十一月二十九日(土)

・ 発表時間 三十分、質疑十分

・ 応募資格 本学国語国文学会会員

・ 応募方法 四百字以内に発表要旨をまとめ、論

題とともに申し込む。

・ 応募先 日本文学科研究室

・ 締切り 平成十五年九月二十九日(月)

○ 会計より 振替用紙を同封いたしました。本年度会費千円の納入を十月末日までにお願いたします。尚、複数年度の会費を既にお納めいただいている方には用紙をお送りしておりませんが、万一手違い等ございましたら、会までご一報くださると共に、何卒ご容赦くださいますよう、お願いいたします。

二〇〇三年八月三十一日

発行・日本女子大学日本文学科

国語国文学会卒業生の会

〒一〇二八六八一 東京都文京区目白台二一八、一

日本女子大学 日本文学科内